

# 住宅用火災警報器の普及状況の推計結果について

総務省消防庁発表 平成23年6月時点

総務省消防庁の発表によると、住宅用火災警報器の推計普及率は全国で71.1%となっており、平成22年12月時点での推計普及率(=63.6%)と比較すると7.5ポイント上昇しています。

石川県内における普及率の状況は、2.2ポイント上昇し、82.2%となり、全国3位の状況となっています。

各地域の状況は次のとおりです。

地 域 名	推計普及率	備 考
金沢市	85.7%	
七尾鹿島広域圏	73.6%	
小松市	88.8%	
奥能登広域圏	78.2%	
加賀市	77.0%	
羽咋郡市広域圏	71.2%	
かほく市	86.7%	
白山石川広域	74.3%	
能美広域	88.8%	
津幡町	88.1%	
内灘町	89.4%	
石川県全域	82.2%	

注 「地域名」欄は、消防本部等の略称で表記しています。

住宅用火災警報器は、火災の早期発見に重要な役割を果たします。  
一刻も早く全ての住宅に設置しましょう。